

過渡的措置における高血圧学会認定専門医申請時の診療実績

診療実績は受け持ち患者 20 症例(入院、外来を問わない)。

本態性高血圧 15 症例

二次性高血圧 5 症例

本態性高血圧症例は、糖尿病、高脂血症、脳血管障害、虚血性心疾患、心不全、腎障害などの合併症を有する各 2 症例を必須とし、その他肥満、高尿酸血症、心肥大、大動脈瘤、慢性閉塞性動脈硬化症などの合併症を有している症例を含め 15 症例とする。糖尿病、腎障害の症例は二次性高血圧に登録した症例を除く。

二次性高血圧症例は腎性高血圧、腎血管性高血圧、内分泌性高血圧の各 1 症例を含み、できるだけ広い分野で、本態性高血圧と重複しない 5 症例とする。

I . 本態性高血圧 15 症例

II . 二次性高血圧 5 症例

a. 腎性高血圧

1. 糖尿病性腎症
2. 慢性糸球体腎炎

b. 腎血管性高血圧

1. 線維筋性異形成
2. 粥状動脈硬化
3. 大動脈炎症候群など

c. 内分泌性高血圧

1. 原発性アルドステロン症
2. 褐色細胞種
3. クッシング症候群など

d. 脳・中枢神経性高血圧

1. 脳出血
2. 脳梗塞など

e. 心・血管性高血圧（腎血管性高血圧を除く）

1. 大動脈縮窄症
2. 大動脈炎症候群
3. 大動脈弁逆流など

f. 薬剤誘発性高血圧

1. 非ステロイド系抗炎症薬
2. 糖質コルチコイド
3. 甘草など